

鮎貝の商業施設の進捗状況は

町長 出店協力打診者と協議を重ねている



横山和浩議員

鮎貝地区地域交流商業施設

運営者選定

問 運営者の現在は。

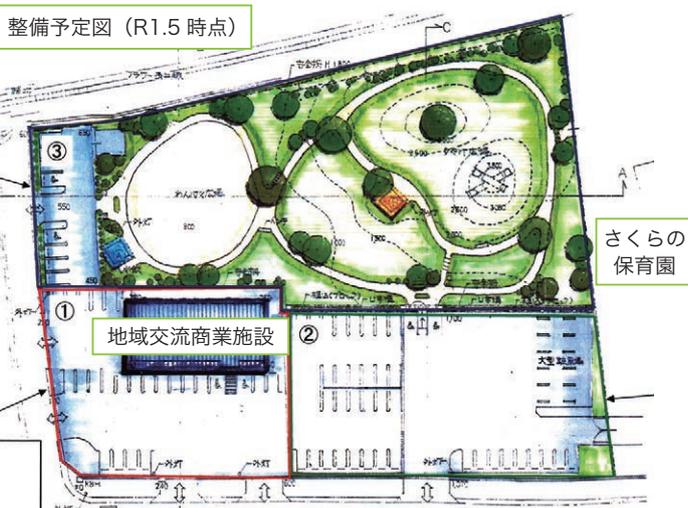
町長 町内商業者を中心に協議を行ったが出店に至らず、出店協力で打診があった株式会社ファミリーマートと協議を重ねて店への手続きを進めている。

商業施設の機能は

問 機能や商品は。

町長 コンビニ商品のほか肉・魚・野菜・青果をそろえたミニスーパーを想定している。公共料金支払い、ATM、多機能コピー機など利便性が高まると思う。店舗内に飲食スペースを検討している。移動販売はできるだけ早く開始させたい。

隣接する広場は現状を大きく変えない整備方針である。商業施設ができることで周囲に様々な変化があると想定されるため、その時々の変化に対応することも必要である。



整備予定図 (R1.5 時点)

文化財の活用

問 価値ある文化財の町指定は

町長 指定にあたり教育委員会から審議会へ諮問していない文化財はあるか。その理由は。

教育長

塩田城址、深山観音堂、塩田行屋の御の本尊、塩田行屋の御

民具の活用は

問

保管民具の展示予定等は。

町長 旧十王コミセ周辺を整備し、民具の展示保管施設として活用したいと考えている。展示方法に工夫検討が必要であるため今年度中に施設整備構想を策定したい。

問 文化財調査の専門職は

町長 旧十王コミセ周辺の整備し、民具の展示保管施設として活用したいと考えている。展示方法に工夫検討が必要であるため今年度中に施設整備構想を策定したい。

問 文化財調査の人材育成や計画的な調査体制が必要ではないか。

町長 白鷹町には貴重な文化財が数多く存在していて、まだまだ調査が必要な状況。調査・保護・活用をはかるために、文化財に精通した専門職員として文化財コーディネーター1名を配置している。今後も文化財と地域をつなぎ、地域の活性化に取り組みたいと考えている。